

令和3年第6回定例会一般質問通告事項

12 月 8 日	前田孝人議員（尾道の会）	質問方式：一括質問方式
	<p>1 コロナウイルス感染症に関して</p> <p>(1) コロナ禍で大きな打撃を受けた観光に依存する尾道市の地域経済のもろさ、不安定さが明らかになった。改めて地場産業の育成強化の必要性を再認識した。この点はどのようにとらえているか</p> <p>(2) 各地域の町内会などコミュニティー組織や活動の停滞、また感染症と自然災害が同時に発生した時の対応など、この度のコロナ禍を契機として、いかにして市民の暮らしと命を守るかという課題が出てきた。今後のウイズコロナ時代の尾道市のまちづくりをどのように進めていく考えか</p> <p>(3) 予定されている地方創生臨時交付金6兆円は、自治体がPCR検査や抗原検査を行う場合に無料でできるように支援することなどを例示している。尾道市においても第6波に備えてPCR検査場の設置をすべきだと思うがどうか</p> <p>2 尾道市の総合計画について</p> <p>(1) 総合計画は地方自治法の改正で策定義務はなくなった。しかし尾道市は従前どおり策定している。もう見直す時代にきていると思う。今までと異なる構成や方針により前例主義を打破し、新たな発想で計画策定をしてはどうか</p> <p>(2) 近年では多くの人員と労力、時間と費用をかけて作成することが目的化しており、10年ごとの大きなイベントになっているのではと思えてならないがこの点はどうか。また市長のマニフェストはこの総合計画にどのように反映しているのか</p> <p>(3) 行政運営の計画として策定しているが、近年は市民との協働のまちづくりが叫ばれており、市民との公共計画とするべきだかどうか</p> <p>3 夜間救急診療所を活用して常設の休日診療所を開設してはどうか</p> <p>(1) 夜間救急診療所を日曜・祝日の昼間に活用し、当番医の代わりに常設の休日診療所として市民の安心に応える。市民ファーストの観点からも歓迎される。早急に進めるべきだがどうか</p>	